【参考写真】和歌山県指定文化財　熊野本地仏曼荼羅（熊野本宮大社蔵）〈部分〉

令和　7　年　1　月　29 日	
資　料　提　供	
担当課（室）	県立博物館 学芸課
担　当　者	学芸課長　坂本亮太
電　　話	073-436-8670（代表）
E-mail	admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

博物館で聖地巡礼

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念
特別展「聖地巡礼　―熊野と高野―　」の開催について

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は平成 16 年（2004）7 月に登録され、令和 6 年（2024）に 20 周年を迎えました。和歌山県立博物館ではそれを記念して、令和 6 年 6 月 15 日（土）から翌年 3 月 9 日（日）までの会期で、特別展「聖地巡礼―熊野と高野―」を開催しています。令和 6 年度は、いつ来てもテーマの異なる世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の名品を味わうことができる展示となっています。今もなお人々を惹きつけて止まない熊野三山と高野山、そしてそれらをつなぐ道の魅力について、年間を通じてより深く知っていただきたいと思います。**今回の特別展のフィナーレを飾るのが、第Ⅴ期展示です。**

第Ⅴ期「蘇り（よみがえり）の地・熊野―熊野本宮大社（くまのほんぐうたいしゃ）・湯峯（ゆのみね）と熊野川」開幕！

【概要】

熊野本宮大社を中心とする熊野への参詣は、山岳修験（さんがくしゅげん）における「擬死再生（ぎしさいせい）」、すなわち生まれ変わりの修行の一つとして行われていました。また熊野三山の一つ熊野本宮大社は、もとは熊野川の中洲（なかす）に鎮座しており、雄大な河川による恵みと猛威の歴史とともに歩んできました。第Ⅴ期の展示では、熊野本宮大社の歴史と名宝を取り上げます。あわせて、熊野信仰と密接に関わりながらも独自の展開を遂げた湯峯（ゆのみね）地区（田辺市）に伝わる文化財、さらに本宮の歴史とも深く関わる熊野川にまつわる文化財から、本宮地域の豊かな文化についてもご紹介いたします。**展示作品数38件（和歌山県指定文化財11件（有形民俗文化財含む）、新宮市指定文化財1件）。**

【 会　期 】令和 7 年 2 月 1 日（土）～令和 7 年 3 月 9 日（日）〈第Ⅴ期〉　（32 日間）
休館日：月曜日（ただし、2 月 24 日（月祝）は開館し、翌 25 日（火）は休館）
【 主　催 】和歌山県立博物館
【展示会場】和歌山県立博物館　1 階企画展示室（〒 640-8137　和歌山市吹上 1-4-14）
※常設展「きのくにの歩み」と併催
【開館時間】午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
【 入館料 】一般 520 円（420 円）、学生 310 円（250 円）
※（　　）は 20 名以上の団体料金。高校生以下、65 歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内の学校に在学中の外国人留学生は無料。
※特別展「聖地巡礼」のスタンプラリーも実施！

※詳しくは別添チラシをご参照下さい。

◇みどころ１　熊野御幸の様子を描く　ー熊野御幸図ー　◇

平安時代後期以降、上皇や女院、貴族による熊野詣（熊野御幸）が盛んになります。白河上皇は9回、鳥羽上皇は21回、後白河上皇は34回、後鳥羽上皇は28回の熊野御幸を行っています。

熊野御幸図【写真1】は、熊野御幸の様子を描いたものです。京都の若王子神社に伝来したと言われます。新宮と那智の2幅が残るのみで、本宮のものは伝わりませんが、上皇による熊野御幸の様子をうかがい知ることができる貴重な作品です。

【写真1】熊野御幸図　2幅（個人蔵）〈展示番号2〉
左が新宮幅、右が那智幅

◇みどころ２　豊臣家による本宮復興　ー神額ー　◇

神額【写真2】は、慶長18年（1613）に豊臣秀吉の子である豊臣秀頼が熊野本宮大社を再興するために寄進したものです。かつての中門に掲げられていたといわれます。同じ時期、豊臣家は熊野本宮大社の復興・造営に深く関わり、様々なものを奉納しています。後の紀伊徳川家も同様に、熊野本宮大社の復興・造営を進めています。

熊野川による水害、戦乱や火災など、度重なる災害を蒙りながらも、何度も蘇り、今なお信仰を守り続ける熊野本宮大社。同社に伝えられた名宝とともに、復興・造営、また災害の歴史を振り返ります。

【写真2】和歌山県指定文化財　神額　1面（熊野本宮大社蔵）
〈展示番号21〉

◇みどころ３　湯峯東光寺の名宝　ー不動明王及び二童子像ー　◇

湯峯地域には王子社があり、熊野本宮大社との深い関わりがあります。その一方で、温泉地としてなど、独自の歴史を歩んできました。

不動明王坐像及び二童子立像【写真3】は、現在、湯峯東光寺で祀られている仏像です。もとは熊野本宮大社に伝えられ、熊野本宮大社の復興のなかで造られた可能性も考えられています。本展示では、湯峯地域の東光寺や湯峯王子社なども含め、湯峯地域に残された宝物類を紹介します。

【写真3】和歌山県指定文化財　不動明王坐像及び二童子立像（東光寺蔵）〈展示番号33〉

◇みどころ４　常設展でも熊野本宮大社のコーナー展示を開催◇

この特別展（第Ⅴ期）の期間中、常設展示室「熊野詣」のコーナーにおいて、「熊野本宮大社　景観と歴史」と題して、熊野本宮大社に関する館蔵品16点をあわせて展示します。特別展とともに熊野本宮大社をより深く知っていただくことができます。